

平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年1月28日

上場会社名 株式会社ベクター

上場取引所 大（ヘラクレス市場）

コード番号 2656

本社所在都道府県 東京都

(URL <http://www.vector.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 梶並 伸博

問合せ先 責任者役職・氏名 取締役管理部長 梶並 京子 (TEL (03) 5337 - 6712)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法の相違の有無 : 有・無

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有 無

連結 (新規) 1社 (除外) 1社

持分法 (新規) (除外)

公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 有 無

2. 平成17年3月期第3四半期（9ヵ月累計）の財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

	営業収益		営業利益		経常利益		第3四半期(当期)純利益	
(9ヵ月)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	1,725	()	126	()	132	()	148	()
16年3月期第3四半期	()	()	()	()	()	()	()	()
(参考) 16年3月期								

	1株当たり第3四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり第3四半期(当期)純利益	
(9ヵ月)	円	銭	円	銭
17年3月期第3四半期	2,160	00	2,152	27
16年3月期第3四半期				
(参考) 16年3月期				

(注)当社は、当第3四半期から連結ベースでの開示を行っているため、平成16年3月期第3四半期及び対前年同四半期比増減率等は記載していません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当社は、平成16年10月22日付でバリューモア株式会社の株式を取得（発行済株式の55%に相当する1,650株。）し、子会社化いたしました。これにより同社は当社の連結対象子会社となりました。同社は、平成14年1月に設立され、当社の資本参加前はソフトバンクBB株式会社の子会社（発行済株式の90%を保有）でありましたが、インターネットを利用したパソコン・同周辺機器（ハードウェア）並びにパッケージソフトの販売を行い、当該分野では当社を上回る販売実績を持っております。

○当第3四半期（平成16年4月1日～平成16年12月31日）におけるわが国経済は、平成14年初から始まった景気回復局面の3年目を迎え、原油価格の高騰、ドル安円高の進行など不透明要因もあり、減速感が徐々に漂いはじめました。このような経済環境下で、当社がかかわるインターネット関連市場では、ADSL（非対称デジタル加入者線）を牽引役にブロードバンド通信の利用者が増え続けました。こうした状況下、当社の当第3四半期業績は、営業収益についてはプロレジ・サービスなどソフトダウンロード販売は不振でありましたが、新規分野のソフトパッケージ・ハードウェア販売で平成16年10月1日以降、バリューモア株式会社分が加わったことにより、1,725,052千円となりました。利益状況については、平成15年9月1日付でプロレジ・サービスなどソフトダウンロード販売について実施した価格改定の効果がフルに寄与しましたが、業容拡大に向けて積極的に人員増を図ったことに伴う人件費負担増、ソフトパッケージ・ハードウェア販売分野の競争激化に伴う採算悪化などがマイナス要因となりました。この結果、当第3四半期は、営業利益は126,108千円、経常利益は132,485千円となりました。当第3四半期純利益については、特別利益として投資

有価証券売却益136,109千円を計上したことが寄与して148,418千円となりました。

○次に、事業部門別の販売実績についてみてみますと、主業のインターネット販売事業（当期より従来のソフトダウンロード販売事業とソフトパッケージ・ハードウェア販売事業を統合してインターネット販売事業と名称を変更いたしました。）の販売金額は1,525,808千円となりました。うち、プロレジ・サービスの当第3四半期における販売金額は、1,065,962千円と前年同四半期に比べ13.8%の減収、シェアレジ・サービスは、販売金額が44,643千円と前年同四半期に比べ11.1%の減収となりました。一方、新規分野のソフトパッケージ・ハードウェア販売については、販売金額は415,202千円となりました。

ソフトダウンロード販売の不振の原因としては、パソコン購入時における初期搭載ソフトの充実、インターネット上での各種サービスの普及が利用者のソフト購買意欲を減退させている可能性があげられ、当社としては利用者のニーズの変化に即した新しいビジネスモデルの構築が急務と考えております。

そのほか、サイト広告販売事業の売上高は 97,865千円と前年同四半期に比べ19.4%の増収となり、回復をみせております。

また、その他の事業の売上高については、101,378千円と前年同四半期に比べ0.2%の微増となりました。

(注) ソフトダウンロード販売の営業収益の計上方法は、シェアレジ・サービスは利用者及び作者からの手数料（利用者からは利用毎に一定金額の手数料を徴収し、作者からはソフトの本体販売価格に一定料率を乗じた金額を手数料として徴収しております。）のみを計上しているのに対し、プロレジ・サービスは本体販売価格を売上高として計上しております。

第3四半期の事業部門別の連結販売実績（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

（単位：千円、％）

	平成17年3月期第3四半期（9ヵ月）		
	金額	構成比	対前年同四半期増減率
インターネット販売事業	1,525,808	88.4	
うちプロレジ・サービス	1,065,962	61.8	13.8
うちシェアレジ・サービス	44,643	2.6	11.1
うちソフトパッケージ・ハードウェア販売	415,202	24.1	
サイト広告販売事業	97,865	5.7	19.4
その他の事業	101,378	5.9	0.2
合計	1,725,052	100.0	

(注) 1.記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2.対前年同四半期増減率について算出可能なものについてのみ記載しております。

当第3四半期（平成16年4月1日～平成16年12月31日）におけるベクター単体の業績については、別紙資料「平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（個別）」のとおりであります。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期 16年3月期第3四半期	3,300	2,678	81.1	38,970 63
(参考) 16年3月期				

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
(9ヵ月) 17年3月期第3四半期 16年3月期第3四半期	17	54	68	2,561
(参考) 16年3月期				

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

財政状態の変動状況

当第3四半期末（平成16年12月31日）における総資産は3,300,349千円となり、うち現金及び預金が2,511,844千円と総資産の76.1%を占めております。

一方、負債につきましては、流動負債が539,987千円、固定負債が11,286千円となり、負債合計は551,274千円で総資本合計の16.7%を占めております。

株主資本につきましては、2,678,217千円となり、株主資本比率は81.1%となりました。

連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期において現金及び現金同等物は、期末残高が2,561,987千円と期首残高の2,558,770千円に比べ3,216千円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第3四半期は小計段階で120,509千円の収入となりましたが、法人税等の支払額が107,016千円となるなどで、17,040千円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出199,679千円のほか、投資有価証券の取得による支出263,980千円などがありましたが、有価証券の売却による収入200,000千円、投資有価証券の売却による収入248,506千円のほか、連結子会社となったバリューモア株式会社の取得による収入121,085千円などにより、54,569千円の収入となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせた純現金収支（フリーキャッシュ・フロー）は、71,610千円の黒字となりました。

なお、財務活動によるキャッシュ・フローは、前期の配当金の支払額68,479千円などで、68,393千円の支出となりました。

3. 平成17年3月期の業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

当社は、インターネット関連の新規性の強い事業を展開しており、公表するにたる業績予想が立てにくい
ため、当分の間、四半期毎、半期毎の業績状況を適時に開示することに努め、通期の業績見通しについては
開示しない方針であります。

4. その他

特記すべき事項はありません。

添付資料

(1) 第3四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	当第3四半期末 (平成16年12月31日現在)	
	金 額	構成比
		%
(資産の部)		
流動資産		
1. 現金及び預金	2,511,844	
2. 売掛金	317,549	
3. 有価証券	50,143	
4. 前払費用	7,887	
5. 繰延税金資産	5,862	
6. 未収入金	53,711	
7. その他の流動資産	36	
貸倒引当金	802	
流動資産合計	2,946,233	89.3
固定資産		
1. 有形固定資産		
(1) 建物	3,345	
(2) 器具備品及び運搬具	33,774	
有形固定資産合計	37,120	1.1
2. 無形固定資産		
(1) ソフトウェア	49,808	
(2) ソフトウェア仮勘定	24,289	
(3) その他の無形固定資産	1,277	
無形固定資産合計	75,376	2.3
3. 投資その他の資産		
(1) 投資有価証券	206,478	
(2) 長期前払費用	1,392	
(3) 繰延税金資産	6,001	
(4) 敷金	27,746	
投資その他の資産合計	241,619	7.3
固定資産合計	354,116	10.7
資産合計	3,300,349	100.0

(単位：千円)

科 目	当第3四半期末 (平成16年12月31日現在)	
	金 額	構成比
		%
(負債の部)		
流動負債		
1. 買掛金	340,440	
2. 未払金	46,580	
3. 未払費用	7,024	
4. 未払法人税等	47,397	
5. 未払消費税等	3,850	
6. 預り金	91,480	
7. 賞与引当金	3,213	
流動負債合計	539,987	16.4
固定負債		
1. 退職給付引当金	5,760	
2. 長期未払金	5,525	
固定負債合計	11,286	0.3
負債合計	551,274	16.7
(少数株主持分)		
少数株主持分	70,857	2.1
(資本の部)		
資本金	983,252	29.8
資本剰余金	1,372,250	41.6
利益剰余金	361,199	10.9
その他有価証券差額金	5,875	0.2
自己株式	44,360	1.3
資本合計	2,678,217	81.1
負債、少数株主持分及び資本合計	3,300,349	100.0

(2) 第3四半期連結損益計算書 平成16年4月1日～平成16年12月31日

(単位：千円)

科 目	当第3四半期 〔自平成16年4月1日 至平成16年12月31日〕	
	金 額	百分比
営 業 収 益	1,725,052	100.0 %
営 業 費 用 (注1)	1,598,943	92.7
営 業 利 益	126,108	7.3
営 業 外 収 益	7,365	0.4
営 業 外 費 用	988	0.1
経 常 利 益	132,485	7.7
特 別 利 益 (注2)	136,109	7.9
特 別 損 失 (注3)	24,885	1.4
税引前第3四半期純利益	243,710	14.1
法人税、住民税及び事業税	87,726	5.1
法人税等調整額	7,703	0.5
少数株主損失	137	0.0
第3四半期純利益	148,418	8.6

(注) 1 営業費用のうち主なもの

インターネット販売原価 1,166,823千円

原稿料 12,656

支払手数料 56,360

役員報酬 30,605

給与手当・賞与 163,179

賞与引当金繰入額 2,703

退職給付費用 1,063

福利厚生費 19,983

業務委託費 16,702

通信費 20,611

租税公課 6,429

減価償却費 17,108

保守修理費 7,056

地代家賃 30,235

賃借料 11,181

2 特別利益

投資有価証券売却益 136,109千円

3 特別損失

投資有価証券評価損 24,885千円

(3) 第3四半期連結剰余金計算書 平成16年4月1日～平成16年12月31日

(単位：千円)

科 目	期 別
	当第3四半期 〔 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日 〕 金 額
(資本剰余金の部)	
資本剰余金期首残高	1,370,675
資本剰余金増加高	
1.ストックオプション行使 による新株の発行	1,575
資本剰余金期末残高	1,372,250
(利益剰余金の部)	
利益剰余金期首残高	285,942
利益剰余金増加高	
1.第3四半期純利益	148,418
利益剰余金減少高	
1.配当金	68,661
2.役員賞与	4,500
利益剰余金期末残高	361,199

(4) 第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書 平成16年4月1日～平成16年12月31日

(単位：千円)

科 目	期 別	当第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)
		金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1.税金等調整前第3四半期純利益		243,710
2.減価償却費		18,283
3.連結調整勘定償却額		1,628
4.貸倒引当金の増減額(減少：)		69
5.退職給付引当金の増減額(減少：)		694
6.賞与引当金の増減額(減少：)		7,083
7.受取利息及び受取配当金		4,168
8.支払利息		299
9.投資有価証券売却益		136,109
10.投資有価証券評価損		24,885
11.売上債権の増減額(増加：)		31,888
12.仕入債務の増減額(減少：)		17,449
13.預り金の増減額(減少：)		3,615
14.未払消費税等の増減額(減少：)		3,520
15.役員賞与の支払額		4,500
16.その他		401
小 計		120,509
17.利息及び配当金の受取額		3,847
18.利息の支払額		299
19.法人税等の支払額		107,016
営業活動によるキャッシュ・フロー		17,040
投資活動によるキャッシュ・フロー		
1.有価証券の取得による支出		199,679
2.有価証券の売却による収入		200,000
3.有形固定資産の取得による支出		10,969
4.無形固定資産の取得による支出		47,457
5.投資有価証券の取得による支出		263,980
6.新規連結子会社の取得による収入		121,085
7.投資有価証券の売却による収入		248,506
8.その他		7,064
投資活動によるキャッシュ・フロー		54,569
財務活動によるキャッシュ・フロー		
1.株式の発行による収入		3,150
2.配当金の支払額		68,479
3.リース債務の返済による支出		3,064
財務活動によるキャッシュ・フロー		68,393
現金及び現金同等物の増減額(減少：)		3,216
現金及び現金同等物の期首残高		2,558,770
現金及び現金同等物の期末残高		2,561,987